

5月になりました。

長一い10連休も終わり庶民には日常がはじまっています。

かつては雲上人といわれた「彼のお方」はまだ色々お忙しいようです。

また「彼のお方」につらなるお子様の初恋？は世間の注目を集め、義務教育も安全に受ける事がままならいようです。西方ではおめでたの経緯が世界中の注目の的となり庶民のお茶飲み話題です古今東西、個人プライバシーについては悩み、御苦労なさっているようです。

プライバシーは人にとっても重要かつ大切なものだと思います。その人なりの生き方や考え方は尊重され何人にも侵されてはいけないと思います。

もちろん、憲法や法律に反しない限り他者から行動の制約を受けたり意見や感情を閉じ込められ、その不都合さに苦しむ必要もないと思います。よって個人情報の管理、守秘義務も充分考慮されその扱いも注意を払う必要があります。「不用意な干渉や阻害感もなく楽しく、平穏な生活がしたい」と思うのは当然の権利です。

それを妨害したり、ましてや興味本位でのぞき見るなどとんでもない！でも今日そのとんでもなく「ハシタナイ事」を私はやってしまいました。



ゆうゆう久我山館には、南側に広いお庭があります。梅・松・桜・椿・金柑などの樹木やすみれ・すずらん・チューリップなど季節の花々が明るい日差しを浴びて、皆の目を楽しませてくれています。庭の中でも少し奥まったゴミ箱のそばに低木があります。

花も咲かない常緑樹。だれもその名前も気にならない「ただの木」として枝葉を伸ばしています。ゴミ箱が飛ばない風除けの壁に囲まれ、外来者の目につきにくい所、そんな所にツグミ？が1羽。今まさに巣をつくり卵を温めています。職員の証言では

「木にリボンとビニール紐が引かかっているのを見た」
「巣の材料とは知らずビニール紐やリボンを捨てた」
など、悪気がなかったとはいえ、妨害にもめげず
「彼のツグミ」はここでの生活を決断しました。

南からの日差しが暖かく、雨粒や風も遮られ、人の気配に猫やカラスもよってこない。安全にプライバシーが守られ、雛をかえすに相応しい場所と判断してくれたのだと思います。



なのに・・・なのに・・・私は・・・ハシタナイ事に「人様のプライバシーを見たい」という迫りくる欲望にかられ、母親のいない隙に巣の中をのぞいてしまいました。そこには「うずらの卵」の様な柄をした卵が4個。

写真を撮るのも忘れホオーと関心しているうちに、母親ツグミが戻ってきました。こちらをチラリと見て目があつたので、おもわず「ごめんなさい」と頭を下げました。どんな生き物でも安心安全な生活を求めているのです。

ここが私達にとってもツグミにとってもいつまでも安心し楽しく生きられる場所である様に互いに温かい気持ちを持ちながら、見守り見守られる所であるように・・・と思う

令和元年 五月雨の5月です。